

株式会社YSGホールディングス 時代のニーズに対応して 石油卸から不動産、IT企業へ

石油卸として創業し、地元横浜で118年の歴史を持つ老舗企業。
不動産、IT、介護と、時代のニーズに対応して新規事業に進出し、
事業間のシナジー効果を生かしてグループの発展を目指す。

株式会社YSGホールディングスの歴史は古い。地元横浜で石油製品などを取り扱う、明治34年(1901年)創業の金杉商店がそのルーツであり、戦後の昭和23年(1948年)に、横浜石油株式会社として法人化した。大手石油会社と次々に特約店契約を結び、横浜市内を中心に数多くのガソリンスタンドを経営した。

しかし、同社は石油事業に依存することなく、時代の変化を敏感に察知。JR横浜駅に近い一等地などではガソリンスタンドをオフィスビルに建て替え、86年に不動産賃貸業に進出した。



「グループ企業間の連携を密にして、新たな事業にも挑戦したい」と話す長堀真己代表取締役社長

一方、オフィスビルに適さない場所には介護施設を建て、2005年に介護事業にも進出。ガソリンスタンドの過当競争から抜け出し、事業の多角化を進めていった。

建設業向けに特化したソフトウェアの開発へ

1991年には、将来の成長産業と見込んでコンピューターソフトウェア事業へも進出した。建設現場で図面や工程表、工事写真といった各種情報を「iPad」を使って共有できるクラウドサービス「CheX」を開発。同社が所有するオフィスビルの1つ、YS長者町ビルを建築する時に、工事を請け負ったゼネコンの鹿島建設株式会社とともに、CheXの実証実験を実施した。

この活用実績をもとにして営業をスタートし、鹿島をはじめ、株式会社大林組、株式会社竹中工務店、株式会社関電工、株式会社きんでん、西日本高速道路株式会社といった大手のゼネコンやインフラ関連企業で次々と採用が進んだ。

ソフトウェア事業を担当する株式会社YSLソリューションはCheXに続き、

iPadを使って図面を共有して、検査・点検や竣工後の維持管理に使う「LAXSY」を開発し、建設分野向けソフト事業を拡大。現在進行形でCheXやLAXSYを活用している建設プロジェクト数は1万以上、ユーザー数は8万人以上という。

最近では法人向けストレージサービス「Box」での連携機能を強化し、事務所でアップロードした図面ファイルや現場で開くだけで見られるようにするなど、現場作業員の手間を省く改良も続けている。

今春には新たに、iPadやスマートフォンを利用したチャット機能付きの現場コミュニケーション支援アプリ「AQuick」、内容が改ざんされないようブロックチェーン技術を活用した、建物ライフログ(履歴管理)システム「bldg-block」のサービスも開始した。ラインアップを強化し、建設分野を中心に一層の事業拡大を目指す。

現在、持株会社であり不動産事業を行うYSGホールディングスの傘下に、株式会社YSLソリューション、介護事業を行う株式会社YSナーシング、そして外国人材就業支援・教育事業を行



東京・青山のデザイナーズオフィス「ROJU(ロジュ)」。古い物件をリノベーションする、不動産事業の新しい試みの1つだ



グループ企業の株式会社YSナーシングは、老人ホームの運営や訪問介護サービスを手がける

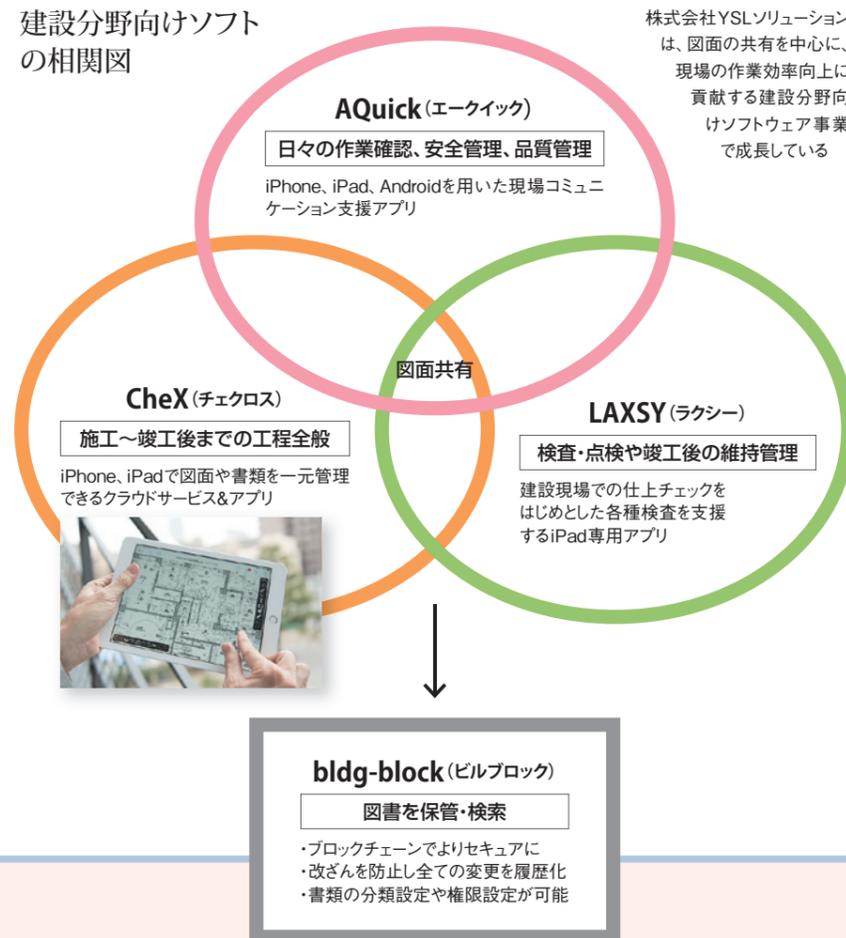
う株式会社YSパートナーがある。

18年3月に祖業の石油事業を廃業したのと同じく、「横浜石油グループから横浜ソリューショングループへ」をスローガンに掲げて新たなスタートを切った。今後は「グループ企業間の連携を密にして、シナジー効果を発揮しつつ、新たな事業にも挑戦したい」と

代表取締役社長の長堀真己氏は言う。

例えば不動産事業では、外国人向けの古いマンションをリノベーションして、デザイナーズオフィスとして付加価値を高めた、東京・青山の「ROJU」など新しい試みを進めている。時代の変化を先取りする経営で、これからも着実な成長を目指す。

建設分野向けソフトの関連図



横浜市中区にある本社ビル

Corporate Profile

代表取締役社長 長堀真己
所在地 神奈川県横浜市中区長者町4-9-1
創業 1901年4月
設立 1948年8月
売上高 53億円
(2019年3月期、グループ計)
従業員 500人(2019年5月現在、グループ計、パート・アルバイトを含む)
<https://www.ysgholdings.co.jp/>